

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	赤松 功一
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	84時間	週時間数	12時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン、3級自動車ジーゼル・エンジン、3級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン総論・エンジン本体	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング ガソリンエンジンの概要・構造・機能
	2	潤滑装置・冷却装置	オイルの循環・冷却・構造・機能
	3	燃料装置	インジェクタ・ポンプの概要・構造・機能
	4	シャシ総論	原理と性能・構成・安全装置
	5	動力伝達装置	クラッチ・ミッション等の動力伝達装置の概要・構造・機能
	6	アクスル・サスペンション・ステアリング装置	スプリング・ショックアブソーバ・ステアリングの概要・構造・機能
	7	ホイール・タイヤ・ブレーキ装置	ホイール・タイヤ・ディスクブレーキ・ドラムブレーキの概要・構造・機能
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	赤松 功一
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	24時間	週時間数	12時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン、3級自動車ジーゼル・エンジン、3級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ジーゼルエンジン総論・エンジン本体	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング ジーゼルエンジンの概要・構造・機能
	2	燃料装置	インジェクションポンプの種類・構造・機能
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	力学・数学	指導担当者名	赤松 功一
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	16時間	週時間数	4時間
学習到達目標	自動車整備士に必要な基礎的な計算が出来るようになる		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学・補助プリント		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	基礎知識	単位・単位の変換
	2	基礎的な原理・法則	変速比、トルク、回転数
	3	基礎的な原理・法則	圧力(パスカル)軸トルク
	4	自動車の諸元	排気量・圧縮比
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	赤松 功一
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	36時間	週時間数	4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	電気・電子の概要	電気と磁気・電子
	2	電気・電子の概要	電気と磁気・電流の三作用
	3	電気・電子の概要	電気と磁気・電源と起電力
	4	電流の種類	直流と交流
	5	接続の種類	直列接続と並列接続
	6	基礎知識	電圧降下
	7	基礎知識	電力及び電力量
	8	基礎知識	導体、不導体及び半導体、コンデンサ
	9	基礎知識	磁界及び磁力線
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	材料学	指導担当者名	赤松 功一
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	自動車の材料	鉄鋼・鋳鉄・鋼
	2	自動車の材料	焼結合金・製法・特性・用途
	3	自動車の機械要素	ねじ・スプリング・ベアリング
	4	自動車の機械要素	ギヤ・ベルト伝導・チェーン伝導
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	燃料・潤滑剤	指導担当者名	赤松 功一
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	燃料	燃料の種類(ガソリン、軽油、LPG)
	2	燃料	燃焼の仕方
	3	潤滑剤	潤滑剤の種類(エンジン・オイル、ギヤ・オイル)
	4	潤滑剤	潤滑剤の種類(グリース)
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン		指導担当者名	赤松 功一	
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	32時間		週時間数	8時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 				
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	エンジン本体(ガソリン)	エンジン本体(シリンダヘッド・ブロック・ピストン等)の整備		
	2	潤滑装置(ガソリン)	潤滑装置の整備		
	3	冷却装置・燃料装置(ガソリン)	冷却装置・燃料装置の整備		
	4	吸排気装置(ガソリン)	吸排気装置の整備		
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン		指導担当者名	赤松 功一
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事			実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	32時間	週時間数	8時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	3級自動車ジーゼル・エンジン			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	エンジン本体(ジーゼル)	エンジン本体(シリンダヘッド・ブロック・ピストン等)の整備	
	2	潤滑装置・冷却装置(ジーゼル)	潤滑装置の整備	
	3	燃料装置(ジーゼル)	インジェクションポンプの整備	
	4	吸排気装置(ジーゼル)	吸排気装置の整備	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	赤松 功一
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	32時間	週時間数	4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	動力伝達装置	動力伝達装置(クラッチ)の整備
	2	動力伝達装置	動力伝達装置(ミッション)の整備
	3	アクスル及びサスペンション	アクスル及びサスペンションの整備
	4	ステアリング装置	ステアリング装置の整備
	5	ホイール・アライメント	ホイール・アライメントの整備
	6	ブレーキ装置	ブレーキ装置の整備
	7	ホイール及びタイヤ	ホイールとタイヤの整備
	8	フレーム及びボデー	フレーム及びボデーの整備
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	赤松 功一
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	32時間	週時間数	4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	半導体	半導体の種類・特徴
	2	バッテリー	バッテリーの概要・構造・機能・整備
	3	始動装置	始動装置の概要・構造・機能・整備
	4	充電装置	充電装置の概要・構造・機能・整備
	5	点火装置	点火装置の概要・構造・機能・整備
	6	予熱装置	予熱装置の概要・構造・機能・整備
	7	灯火装置	灯火装置の概要・前後ライトの構造・機能・整備
	8	計器	メーター類の概要・構造・機能・整備
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	整備作業機器	指導担当者名	赤松 功一
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車整備作業		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	整備の基礎知識	整備作業の目標・労働安全・公害
	2	基礎整備作業	ハンドツールの使い方
	3	基礎整備作業	電動機器の使い方
	4	基礎整備作業	エンジン点検機器の使い方
	5	基礎整備作業	シャシ点検機器の使い方
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	測定機器	指導担当者名	赤松 功一
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車整備作業		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	エンジン・シャシ点検作業	ノギス、マイクロメータ、ダイヤル・ゲージ、Vブロックの使い方
	2	エンジン・シャシ点検作業	シリンダ・ゲージ、シクネス・ゲージ使い方
	3	エンジン・シャシ点検作業	スコヤ・ストレート・エッジ使い方
	4	シャシ点検作業	トーイン・ゲージ・キャンバ、キャスト、キング・ピン・ゲージ使い方
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	手仕上げ工作	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	11時間	週時間数	11時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	真鍮棒、弓ノコ、鉄板		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ミニピストン作成	弓のこを使った材料の切り出し・真鍮によるミニピストン作り
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	機械工作	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	11時間	週時間数	11時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	グラインダー、卓上ボール盤、電気ドリル		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	作業機械の取り扱い	グラインダー・ボール盤等の電気機械の取り扱い
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	基本計測	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	43時間	週時間数	13時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	ノギス、マイクロメーター、シクネスゲージ、ストレートエッジ等		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	計測機器の説明・測定	ノギス、マイクロメーターで計測
	2	エンジン基本計測	シリンダゲージ・ストレートエッジ・シクネスゲージ・スコヤで計測
	3	エンジン基本計測	プラグギャップゲージ・タイミングライトで計測
	4	エンジン基本計測	コンプレッションゲージ・バキュームゲージで計測
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	140時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体(ガソリン・ジーゼル)		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体(4気筒)分解・名称確認
	2	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体(4気筒)計測・組付け
	3	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体(4気筒)分解・名称確認
	4	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体(4気筒)計測・組付け
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	75時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン本体(特殊エンジン)		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	特殊エンジン	ロータリーエンジン・水平対向エンジン単体の分解・名称確認
	2	特殊エンジン	ロータリーエンジン・水平対向エンジン単体の計測・組付け
	3	まとめ	各エンジンの総まとめ
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	105時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	動力伝達装置	クラッチ・ミッションの脱着・分解・組立
	2	アクスル及びサスペンション	前後サスペンション・アクスルの脱着・分解・組立
	3	ステアリング装置	ステアリング装置の脱着・分解・組立
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	105時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ホール・アライメント	ホール・アライメントの測定・調整
	2	ブレーキ装置	ディスクブレーキ装置の脱着・分解・組立
	3	ブレーキ装置	ドラムブレーキ装置の脱着・分解・組立
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	105時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両、電装品単品		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	サーキットテスタ	サーキットテスタでの測定方法
	2	バッテリー	バッテリーの点検・脱着
	3	始動装置	スターターモータの脱着・分解・組立・点検
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	青木 将大
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	105時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両、電装品単品		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	充電装置	オルタネータの脱着・分解・組立・点検
	2	点火装置	ディストリビュータの脱着・分解・組立・点検
	3	予熱装置	グロープラグの脱着・分解・組立・点検
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車工学総合演習		指導担当者名	赤松 功一
実務経験				実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数	32時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	3級自動車ガソリンエンジン・3級自動車ジーゼルエンジン・3級自動車シャシ・3級自動車整備士過去問題プリント			
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ	
	2	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ	
	3	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ	
	4	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ	
	5	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ	
	6	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ	
	7	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ	
	8	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ	
	9	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ	
	10	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ	
	11	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ	
	12	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ	
	13	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ	
	14	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ	
	15	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ	
	16	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ	
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	自動車工学総合演習	指導担当者名	赤松 功一
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	10時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	面接対策 & ビジネスマナーテキスト・ワークブック		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	二輪	3級二輪過去問題プリントにて復習・まとめ
	2	二輪	3級二輪過去問題プリントにて復習・まとめ
	3	二輪	3級二輪過去問題プリントにて復習・まとめ
	4	二輪	3級二輪過去問題プリントにて復習・まとめ
	5	二輪	3級二輪過去問題プリントにて復習・まとめ
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務	指導担当者名	赤松 功一
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	16時間	週時間数	1時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	面接対策&ビジネスマナーテキスト・ワークブック		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	社会人になるとは	心構え・求められる資質・職場での基本マナー
	2	基本動作	姿勢・歩き方・表情・発声練習
	3	言葉遣い	敬語の基本・話し方・聞き方
	4	電話対応	注意点・電話のかけ方・受け方
	5	電子メールのマナー	使用の注意点・例文
	6	面接の目的	面接について考える
	7	自己分析	自己分析をして考える
	8	自己PR作成	自己PRの作成・作り方
	9	志望動機作成	志望動機の作成・作り方
	10	エントリーシート・履歴書作成	エントリーシート・履歴書の書き方
	11	エントリーシート・履歴書作成	エントリーシート・履歴書の書き方
	12	企業訪問	企業訪問前の前準備・マナー
	13	面接試験	面接試験のマナー
	14	面接試験	面接試験の受け答え
	15	面接試験	面接試験の受け答え
	16	礼状の書き方	内定先への礼状の書き方
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	96時間	週時間数	12時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	ガソリンエンジン総論	燃焼方式・バルブタイミング・性能
	2	ガソリンエンジン本体	レシプロエンジンの概要・構造・機能
	3	潤滑・冷却装置	オイルの循環・油圧制御・電動ファン・電動ウォーターポンプの構造・機能
	4	燃料・吸排気装置	燃料噴射装置・過給機の概要・構造・機能
	5	シャシの総論	自動車の発達・性能
	6	動力伝達装置	AT・CVTの構造・機能
	7	アクスル及びサスペンション	エアサスペンション・電子制御式サスペンションの構造・機能
	8	スタアリング装置・ブレーキ装置	パワーステアリング・エアブレーキの構造・機能
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	44時間	週時間数	12時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級2輪自動車・2級自動車ジーゼルエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	二輪の総論・エンジン・シャシ	二輪の発達・性能・エンジン本体・動力伝達装置の構造・機能
	2	ジーゼルエンジンの総論	発達・燃焼方式・性能
	3	ジーゼルエンジン本体	ジーゼルエンジンの概要・構造・機能
	4	燃料装置	高圧燃料噴射装置の概要・構造・機能
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	力学・数学	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	基礎的な原理・法則	荷重(テコの原理)・軸重の計算
	2	基礎的な原理・法則	荷重(テコの原理)・軸重の計算
	3	基礎的な原理・法則	荷重(テコの原理)・軸重の計算
	4	基礎的な原理・法則	トルク、軸トルクの計算
	5	自動車の諸元	変速比の計算
	6	自動車の諸元	変速比の計算
	7	自動車の諸元	自動車に働く抵抗・駆動力の計算
	8	自動車の諸元	自動車に働く抵抗・駆動力の計算
	9	自動車の諸元	登坂能力・燃料消費率の計算
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	40時間	週時間数	4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	半導体の基礎	概要
	2	半導体の基礎	半導体の種類と特質
	3	半導体の基礎	ダイオードの特質
	4	半導体の基礎	ツェナダイオードの特質
	5	半導体の基礎	発光ダイオードの特質
	6	半導体の基礎	フォトダイオードの特質
	7	半導体の基礎	トランジスタの種類
	8	半導体の基礎	トランジスタのスイッチング回路
	9	半導体の基礎	トランジスタの増幅作用
	10	半導体の基礎	サイリスタの構造
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	12時間	週時間数	4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	半導体の基礎	論理回路の種類
	2	半導体の基礎	論理回路の特質
	3	半導体の基礎	サーミスタ・圧電素子
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	図面学	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	補助プリント		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	製図の基本	製図の投影方法
	2	製図の基本	用紙の大きさと尺度
	3	製図の基本	線の種類用途・図形の表し方
	4	形体の精度	幾何公差表示方式・独立の原則
	5	形体の精度	包絡の条件・最大実体公差方式
	6	表面性状の図示方法	除去加工の指示
	7	表面性状の図示方法	表面粗さ
	8	機械要素部品の製図	ねじ・転がり軸受けの製図
	9	機械要素部品の製図	歯車・ばねの製図
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	潤滑装置	潤滑系統の点検・整備
	2	冷却装置	電動ファンの点検・整備
	3	エンジンの点検整備(ガソリン)	エンジンの基本点検
	4	エンジンの点検整備(ガソリン)	自己診断システムの点検
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ジーゼルエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	エンジンの点検整備(ジーゼル)	エンジンの基本点検
	2	エンジンの点検整備(ジーゼル)	インジェクションポンプの点検・整備
	3	エンジンの点検整備(ジーゼル)	インジェクションポンプの点検・整備
	4	エンジンの点検整備(ジーゼル)	高圧燃料噴射装置の点検・整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	動力伝達装置	クラッチ・AT・CVTの整備
	2	アクスル及びサスペンション	エアサスペンション・アクスルの整備
	3	ステアリング装置	パワーステアリングの整備
	4	ホイール及びタイヤ	ホイール・タイヤの整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ホイールアライメント	キャンバ・キャスト・キングピン・トーの測定・調整
	2	ブレーキ装置	エアブレーキ・補助ブレーキの整備
	3	保安基準適合性確保	概要・点検の目的
	4	保安基準適合性確保	各部の点検・検査用機器
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	バッテリー	バッテリーの整備
	2	始動装置	スターターモータの点検・整備
	3	充電装置	オルタネーターの点検・整備
	4	電子制御装置	概要・センサ、アクチュエータの構造・機能
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	計器・警報装置	メーター・ホーンの概要・構造・機能・整備
	2	空気調和装置	エアコンの概要・構造・機能・整備
	3	電気装置の配線	電気配線の概要・構造・機能
	4	安全装置及び付属装置	エアバック・カーナビゲーションの構造・機能・整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	16時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	ガソリンエンジン故障原因探求	概要・効率的な診断
	2	ガソリンエンジン故障原因探求	診断の基本(問診・現象確認)
	3	ガソリンエンジン故障原因探求	診断の基本(原因の推定・再発の防止)
	4	ガソリンエンジン故障原因探求	故障診断の進め方
	5	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン始動不能)
	6	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン不調)
	7	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(出力不足)
	8	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(燃料消費量多い)
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ジーゼルエンジン故障原因探求	概要・効率的な診断
	2	ジーゼルエンジン故障原因探求	診断の基本
	3	ジーゼルエンジン故障原因探求	故障診断の進め方
	4	ジーゼルエンジン故障原因探求	故障診断の手順
	5	ジーゼルエンジン故障原因探求	故障現象と関係すると思われる原因
	6	シャン故障原因探求	概要・効率的な診断
	7	シャン故障原因探求	診断の基本
	8	シャン故障原因探求	故障診断の進め方
	9	シャン故障原因探求	故障診断の点検方法
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	検査学	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	24時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	道路運送車両法	自動車の種類
	2	道路運送車両法	登録制度
	3	道路運送車両法	点検整備制度
	4	道路運送車両法	検査制度
	5	道路運送車両法	検査制度
	6	道路運送車両法	認証制度
	7	道路運送車両法	指定制度
	8	道路運送車両法	届け出・手数料の納付
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車整備法規	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	24時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	道路運送車両の保安基準	自動車の構造
	2	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(原動機・シャシ関係)
	3	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(車体関係)
	4	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(公害防止関係)
	5	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(灯火関係)
	6	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(灯火関係)
	7	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(運転操作)
	8	道路運送車両の保安基準	緊急自動車等
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	庄司 拓弥
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	105時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体、実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	エンジン本体	エンジン本体の脱着
	2	エンジン本体	タイミングベルト・チェーンの脱着
	3	燃料装置	インジェクションポンプの脱着
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	庄司 拓弥
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	42時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体、実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	冷却装置	電動ファンの点検
	2	エンジンの点検・整備	外部診断機による点検・調整
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	庄司 拓弥
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	70時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	動力伝達装置	ATの分解・組立
	2	ブレーキ装置	ブレーキ単体の分解・組立
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	庄司 拓弥
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	70時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ステアリング装置	ラックピニオン型・ボールナット型ステアリングの分解・組立
	2	ホイールアライメント	ホイールアライメントの調整
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	庄司 拓弥
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	70時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	始動装置	スターターモータの脱着・点検・整備
	2	充電装置	オルタネータの脱着・点検・整備
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	庄司 拓弥
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	70時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	点火装置	イグニッションコイルの脱着・点検・整備
	2	シヤン電装	基本的な回路図の読み方・現車を使つての確認
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求		指導担当者名	庄司 拓弥
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年間従事			実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	147時間	週時間数	35時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	実習車両			
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	エンジン故障原因探求	エンジン故障時の基本点検	
	2	エンジン故障原因探求	エンジン始動不能・エンジン不調の故障診断	
	3	エンジン故障原因探求	出力不足・燃料消費量多い車の故障診断	
	4	シャシ故障診断	ATの故障診断	
	5	シャシ故障診断	ABSの故障診断	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	検査作業	指導担当者名	庄司 拓弥
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に5年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	56時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	検査用機器	ブレーキテスタ・ヘッドライトテスタ・サイドスリップテスタの用途、構造、機能の確認
	2	継続検査作業	受け入れ検査・中間検査・完成検査・まとめ
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車工学総合演習	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車整備士過去問・3級自動車ガソリンエンジン・3級自動車ジーゼルエンジン・3級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	2	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	3	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車工学総合演習	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	21時間	週時間数	3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級整備士過去問プリント・2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ・法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	国家2級整備士対策問題	2級エンジン分野過去問題
	2	国家2級整備士対策問題	2級シャシ分野別過去問題
	3	国家2級整備士対策問題	2級の基礎工学・法令分野別問題
	4	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	5	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	6	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	7	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務		指導担当者名	鈴木 友二
実務経験				実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	16時間	週時間数	1時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	面接対策 & ビジネスマナーテキスト・ワークブック			
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	エントリーシート・履歴書作成	エントリーシート・履歴書の書き方	
	2	企業訪問	企業訪問の準備	
	3	企業訪問	アポイントメントの取り方・訪問時のマナー	
	4	面接試験	面接試験の受け答えのマナー	
	5	面接試験	スピーチの練習	
	6	社会人になるとは	学生と社会人の違い	
	7	社会人になるとは	職場の基本マナー	
	8	社会人になるとは	社会人としてふさわしい身だしなみ	
	9	基本動作	姿勢・お辞儀の仕方	
	10	基本動作	表情・発声練習	
	11	言葉遣い	正しい言葉遣い・敬語を身につけよう	
	12	言葉遣い	間違いやすい敬語	
	13	電話対応	正しい電話対応・注意点	
	14	電話対応	電話の受け方・かけ方	
	15	電子メールのマナー	電子メール使用の注意点・文例	
	16	電子メールのマナー	電子メールの作成	
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	1時間	週時間数	1時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	面接対策 & ビジネスマナーテキスト・ワークブック		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	電子メールのマナー	電子メールの作成
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	図面学	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	8時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	図面学(製図編)		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	製図の基本	図形の投影方法・用紙の大きさと尺度・線の種類と用途・図形の表し方
	2	形体の精度	幾何公差表示方式・独立の原則・最大実体公差方式
	3	表面性状の図示方法	除去加工の指示・表面粗さ
	4	機械要素部品の製図	ねじの製図・転がり軸受の製図・歯車の製図
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	材料・力学・構造・性能	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	53時間	週時間数	5時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自動車の車体の材料	金属材料の一般的性質
	2	自動車の車体の材料	鋼材の熱影響
	3	自動車の車体の材料	鉄鋼材料
	4	自動車の車体の材料	アルミニウム
	5	自動車の強度・力学	はりの支点と反力
	6	自動車の強度・力学	荷重分布計算の必要性
	7	自動車の強度・力学	荷重分布の計算例
	8	車体の構造	衝突安全ボデー
	9	車体の構造	歩行者傷害軽減構造
	10	車体の構造	エンジンの配置による分類
	11	車体の構造	フレーム形状による分類
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	91時間	週時間数	6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	乗用車の整備	計測の基本要件
	2	乗用車の整備	車体寸法図
	3	乗用車の整備	計測器の種類
	4	乗用車の整備	フレーム修正機による整備
	5	乗用車の整備	部品の取替
	6	乗用車の整備	溶接部品の交換
	7	乗用車の整備	カット交換作業
	8	乗用車の整備	フロント・サイド・メンバの部品交換
	9	トラックの整備	トラック・フレームの狂いの分類
	10	トラックの整備	フレームの狂いの修正
	11	トラックの整備	複合した狂いの修正
	12	トラックの整備	フレームのき裂の修理順序
	13	トラックの整備	フレーム補強板
	14	トラックの整備	L型断面補強
	15	トラックの整備	フランジ平板補強
	16	トラックの整備	ウェブ・セクション平材補強
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	板金	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	72時間	週時間数	6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	鋼板の損傷	損傷の理論的考察
	2	鋼板の損傷	損傷状態の種類
	3	鋼板の損傷	損傷状態の種類
	4	板金作業	板金作業の方法と工程
	5	板金作業	板金作業の方法と工程
	6	板金作業	打ち出し板金
	7	板金作業	引き出し板金
	8	板金作業	揉み出し板金
	9	板金作業	絞り
	10	板金作業	あぶり出し板金
	11	板金作業	仕上げ
	12	板金作業	防せい、防水作業
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	塗装	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	49時間	週時間数	5時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	塗装作業	塗装作業の定義
	2	塗装材料	塗料の構成
	3	塗装材料	前処理剤
	4	塗装材料	下塗り塗料
	5	塗装材料	中塗り塗料
	6	塗装材料	上塗り塗料
	7	塗装材料	その他の塗料、材料
	8	塗装の乾燥機構	溶剤揮発乾燥
	9	塗装設備、機器	塗装設備
	10	補修塗装	補修塗装の種類
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	損傷診断	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	33時間	週時間数	4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	損傷診断に必要な基礎知識	損傷診断の基本要件
	2	損傷診断に必要な基礎知識	損傷診断に必要な基礎知識
	3	損傷診断に必要な基礎知識	自動車材料の損傷特性
	4	損傷診断に必要な基礎知識	運動の法則
	5	損傷診断に必要な基礎知識	車体の損傷診断
	6	損傷診断に必要な基礎知識	フロント・ボデーの衝撃吸収構造
	7	損傷診断に必要な基礎知識	トラックの損傷診断
	8	損傷診断に必要な基礎知識	キャブの損傷診断
	9	損傷診断に必要な基礎知識	フレームの損傷診断
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	検査学	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	22時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教材		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	車体の整備と検査	車体構造・機能の確保
	2	車体の整備と検査	車体強度の確保
	3	車体の整備と検査	車体強度の確保
	4	車体の整備と検査	車体耐久性の確保
	5	車体の整備と検査	車体耐久性の確保
	6	車体の整備と検査	車体外観の復元
	7	車体の整備と検査	車体外観の復元
	8	車体の整備と検査	検査における計測の重要性
	9	車体の整備と検査	検査における計測の重要性
	10	車体の整備と検査	不法改造の防止
	11	車体の整備と検査	不法改造の防止
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車整備法規	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	10時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教材		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	道路運送車両の保安基準	車枠及び車体「強度」
	2	道路運送車両の保安基準	車枠及び車体「突起と回転部分」
	3	道路運送車両の保安基準	車枠及び車体「リヤオーバハング」
	4	道路運送車両の保安基準	車枠及び車体「衝突安全性」
	5	道路運送車両の保安基準	車枠及び車体「車体表示」
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	調整・検査・板金	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	245時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	ミグ溶接機、スポット溶接機、スタッド溶接機、トラムトラッキングゲージ、センタリングゲージ、ポートパワー、ボディクランプ		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ボデー、フレーム修正用機器	床式フレーム修正機
	2	ボデー、フレーム修正用機器	台式フレーム修正機
	3	ボデー、フレーム板金	打ち出し板金
	4	ボデー、フレーム板金	引き出し板金
	5	ボデー、フレーム板金	揉み出し板金
	6	ボデー、フレーム板金	絞り
	7	ボデー、フレーム検査	検査における計測の重要性
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	調整・検査・板金	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	280時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	ミグ溶接機、スポット溶接機、スタッド溶接機、トラムトラッキングゲージ、センタリングゲージ、ポートパワー、ボディクランプ		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	点検・分解・組立・調整・検査・板金	損傷車両の点検、分解、組立
	2	点検・分解・組立・調整・検査・板金	損傷車両の点検、分解、組立
	3	点検・分解・組立・調整・検査・板金	損傷車両の点検、分解、組立
	4	点検・分解・組立・調整・検査・板金	損傷車両の点検、分解、組立
	5	点検・分解・組立・調整・検査・板金	損傷車両の点検、分解、組立
	6	点検・分解・組立・調整・検査・板金	損傷車両の調整、検査
	7	点検・分解・組立・調整・検査・板金	損傷車両の調整、検査
	8	点検・分解・組立・調整・検査・板金	損傷車両の調整、検査
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	塗装	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	112時間	週時間数	35時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両・塗装ガン		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	安全と衛生	規制法規、各種届出、必要資格
	2	安全と衛生	有機溶剤中毒予防規則について
	3	安全と衛生	特定化学物質による健康障害の予防について
	4	安全と衛生	作業者の注意事項
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	損傷診断		指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	70時間	週時間数	14時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	実習車両			
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	車体の損傷診断	フロント・ボデーのp衝撃吸収構造	
	2	車体の損傷診断	リヤ・ボデーの衝撃吸収構造	
	3	車体の損傷診断	サイド・ボデー衝撃吸収構造	
	4	車体の損傷診断	キャブの損傷診断	
	5	車体の損傷診断	フレームの損傷診断	
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	検査作業	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	28時間	週時間数	24時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	車体の損傷診断	事故車両の車体構造
	2	車体の損傷診断	事故車両の復元検査
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	10時間	週時間数	1時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	就職面接、ビジネスマナー参考書		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	面接の目的	面接について考える
	2	面接の目的	面接成功の7箇条
	3	自己分析	自己分析で考えるポイント
	4	自己PR作成	自己PR作成方法
	5	自己PR作成	自己PRの作り方
	6	志望動機作成	志望動機の作り方
	7	履歴書作成	履歴書の作り方
	8	企業訪問	訪問時のマナー
	9	面接試験	面接シミュレーション
	10	面接試験	内定したとき
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	総合演習	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	21時間	週時間数	2時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備・補助プリント		
授業外学習の方法	前回の内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	2	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	3	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	4	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	5	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	6	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	7	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	8	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	9	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	10	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	11	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			